

ご 挨拶

平成28年2月吉日

会員各位

謹啓

向春の候、各位におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、第55回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会、第332回日本臨床化学会東海・北陸支部例会 連合大会を平成28年3月6日(日)に、浜松医科大学において開催させていただくことになりました。大学は浜松駅から少し離れておりますが、駅前のアクトシティ浜松とはまた違った浜松市をご覧いただける機会だと思っております。

本連合大会は、「臨床検査の*New Horizon*」をテーマとし、新しい臨床検査に焦点をあてました。特別講演は大阪大学の原英二先生をお招きし、「肥満とがん：腸内細菌と細胞老化の関与について」と題してご講演いただきます。基礎研究の成果から肥満、がんの病態につながり、さらに腸内細菌と各種病態との関係が報告されてきており、最先端の研究成果が聴ける機会となっております。

シンポジウムは本大会のテーマと同じタイトル「臨床検査の*New Horizon*」で3名の演者にお願いしました。リキッドバイオプシーによる遺伝子検査、アミノ酸プロファイリングというメタボローム解析検査、糖尿病のリアルタイムでの血糖モニタリングに関して、これからの臨床検査の進む方向を考える上でも有用な情報を提供してくれるものと期待しております。なお、本シンポジウムは臨床検査専門医更新のための講習会として認定されております。

ランチオンセミナーは「心腎連関を理解する：新しい腎疾患診断用バイオマーカー“尿中L-FABP”活用のコツ」と「新たな診療サポート隊“救命救急検査士”」の2題あり、こちらも最新の話題で、有用な情報を得ることができます。

機器試薬セミナーとして、11社の機器試薬展示を予定しております。今回は第一会場での簡単なプレゼンで一押しの情報をもらってから、展示会場で自由に見学・質問していただく予定にしました。是非、新しい情報を得ていただければと思います。

一般演題は26題の申込をいただきまして、ありがとうございます。今回、以前に試行しました若手座長を推薦してもらいました。演者、座長の方々には、どうか宜しくお願い致します。

最後に、本大会を開催するにあたり、多くの企業から協賛を頂戴致しました。この場を借りて御礼申し上げます。そして、年度末の開催ではありますが、上記のように盛りだくさんな有益な情報満載ですので、お一人でも多くの方々と分かち合うことができればと願っております。3月6日に浜松で私ども一同お待ち致しております。

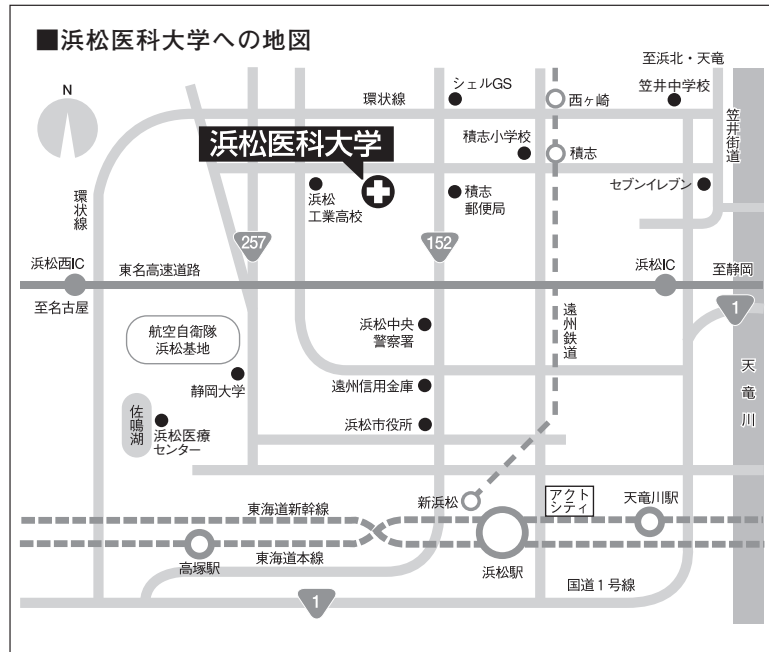
謹白

第55回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会
第332回日本臨床化学会東海・北陸支部例会

連合大会 大会長 前 川 真 人

(浜松医科大学医学部 臨床検査医学)

会場への交通アクセス



■会場 浜松医科大学臨床講義棟

浜松駅北口バスターミナルからの交通案内

●遠鉄バス

バスのりば	路線番号	路線名称等	所要時間
13番	50	山の手医大線医大行き	(乗車時間：約35分)

●タクシー

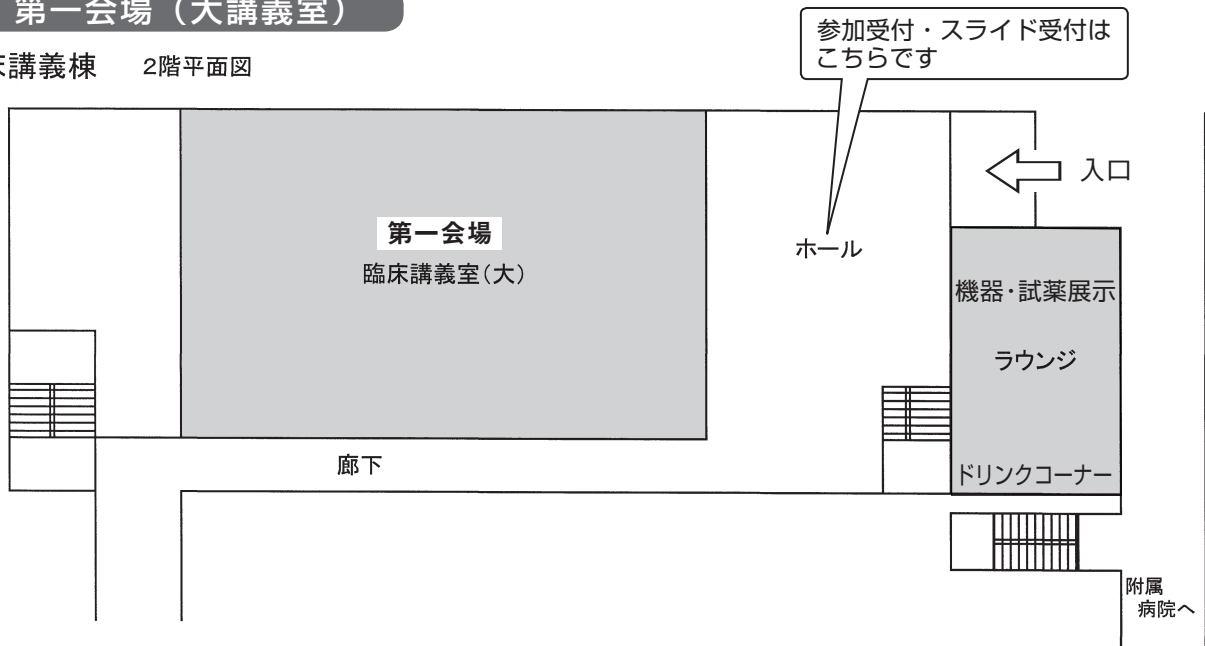
浜松駅南口から (料金：約3,000円)



会場案内図

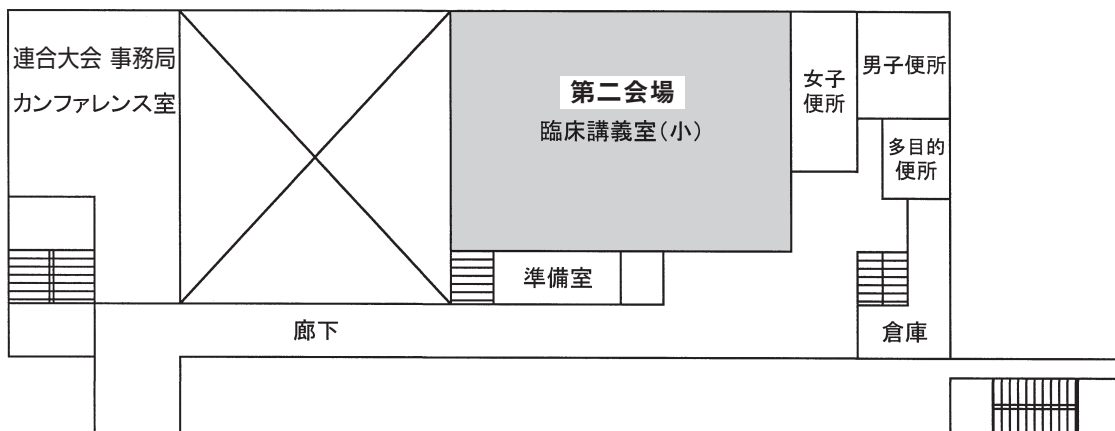
第一会場（大講義室）

臨床講義棟 2階平面図



第二会場（小講義室）

臨床講義棟 1階平面図



ご 案 内

1. 会 期 平成28年3月6日(日)

2. 会 場 浜松医科大学 臨床講義棟

3. 参加受付 (臨床講義棟 大講義室前)

- 1) 受付は臨床講義棟大講義室前にて8:30より行います。
- 2) 参加者は、総合受付で参加費2,000円をお支払ください(学生証提示で学生は無料)。
受付時にネームカード(領収書付)をお渡ししますので会場内では常にご着用ください。
- 3) 抄録集は必ずご持参ください。当日、ご希望の方は実費(1,000円)で販売しますが、部数に限りがありますのでご了承ください。
- 4) 未加入の方は、新入会受付で所定の手続きをお取りください。

4. 支部総会

11:05より、第一会場(臨床講義棟 大講義室)にて行います。

5. ランチョンセミナー

昼食時(12:30~13:20)にランチョンセミナーを行います。受講料は無料です。
昼食、飲み物を用意しておりますので、参加受付時に昼食券をお受取りください(先着順です)。
セミナーは2会場で開催、いずれの会場でも弁当は3種類を用意します。

6. 機器・試薬展示

9:00~15:00の間、展示会場にて常設します。

7. ドリンクコーナー

展示会場にドリンクコーナーを設置しますのでご利用ください。

8. 日臨技生涯教育

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 生涯教育点数 専門10点が付与されます。
(コード番号:53 名称:学会関係)

9. その他

敷地内全面禁煙となっております。ご協力をお願いします。

10. 座長の先生へ

定刻になりましたら、セッションを開始してください。次座長の先生は定刻前に次座長席でお待ちください。

11. 演題発表の先生方へ

特別講演、シンポジウム、一般演題のすべての発表で使用するPCは、Windows 7/PowerPoint 2010で、プロジェクター1台です。発表データはUSBメモリまたはCD-Rでファイルをご持参ください。なお、特別講演、シンポジウムについてはPCの持ち込み可能です。「スライド受付」に申し出て、PC本体とACアダプターを会場にお持ちください。スライド受付は30分前までにお済ませください。お預かりしたデータは、会期終了後直ちに、責任を持って消去いたします。

定刻前までに次演者席でお待ちください。スライド操作は各自でお願いします。スライド枚数には制限はありませんが、時間内に終了するようにご配慮ください。

一般演題の口演時間は6分、質疑応答は2分です。制限時間1分前にベルが1度鳴り、2度目のベルをもって終了の合図とさせていただきます。ご協力をお願いします。

12. COI (利益相反) 開示のお願い

- 1) ご講演に際しましては、COI (利益相反) についての情報開示をお願い致します (全演題該当)。
- 2) 該当するCOI状態について、発表スライドの最初 (または演題・発表者などを紹介するスライドの次) で掲示して下さい。
- 3) COI (利益相反) の開示に関するスライド例 (下図) は、学会ホームページからダウンロードすることができます。下記URLでご確認下さい。

<http://www.jslm.org/committees/coi/jslm.html>


検索されるときは、日本臨床検査医学会と利益相反委員会で調べて、「学術集会演題登録のCOI開示について」のページをご覧ください。

利益相反「なし」の場合：様式1-A

様式1-A
学術講演会口頭発表時、申告すべきCOI状態がない場合

日本臨床検査医学会
COI (利益相反) 開示
筆頭発表者名： ○○ ○○

演題発表に関連し、開示すべきCOI
関係にある企業等はありません。

 一般社団法人 日本臨床検査医学会


利益相反「あり」の場合：様式1-B

様式1-B 学術講演会口頭発表時、申告すべきCOI状態がある場合

日本臨床検査医学会
COI (利益相反) 開示
筆頭発表者名： ○○ ○○

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、

① 顧問:	なし
② 株保有・利益:	なし
③ 特許使用料:	なし
④ 講演料:	なし
⑤ 原稿料:	なし
⑥ 委託研究・共同研究費:	○製薬
⑦ 奨学金:	○製薬
⑧ 寄付講座所属:	あり(○製薬)
⑨ 特別な便益の提供:	なし

 一般社団法人 日本臨床検査医学会

学術プログラム

1. 一般演題 9:10~11:00

第一会場：臨床講義棟 大講義室

第二会場：臨床講義棟 小講義室

2. 特別講演 11:30~12:20 第一会場

座長：前川 真人（浜松医科大学医学部 臨床検査医学）

「肥満とがん：腸内細菌と細胞老化の関与について」

大阪大学 微生物病研究所 原 英二

3. シンポジウム 14:20~15:40 第一会場

「臨床検査の*New Horizon*」

座長：中谷 中（三重大学医学部附属病院 オーダーメイド医療部・中央検査部）

石川 隆志（藤田保健衛生大学病院 臨床検査部）

1) 久保田 守（シスメックス株式会社 ライフサイエンスビジネスユニット）

「リキッドバイオプシーを用いたがん遺伝子検査の臨床応用」

2) 安東 敏彦（味の素株式会社 ウエルネス事業部アミノインデックスグループ）

「アミノ酸プロファイルは、なぜ多様な疾患リスクを知っているのか？」

3) 釣谷 大輔（浜松医科大学医学部附属病院 検査部）

「CGMを活かした血糖管理の有用性と今後の展望」

※本企画は日本専門医機構 臨床検査専門医認定・更新に係る「臨床検査領域講習1単位」として認定されています。

4. ランチョンセミナー 12:30~13:20

第一会場 共催：積水メディカル株式会社

座長：金沢大学大学院 血液情報統御学 和田 隆志

「心腎連関を理解する：新しい腎疾患診断用バイオマーカー“尿中L-FABP”活用のコツ」

藤田保健衛生大学 医学部 臨床検査科 石井 潤一

第二会場 共催：シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス（株）

座長：三重大学医学部附属病院 中央検査部 森本 誠

「新たな診療サポート隊 “救命救急検査士”」

医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 臨床検査部 大塚 喜人

5. 機器・試薬セミナー 13:30~14:20 第一会場

座長：濱田 悦子（浜松医科大学医学部附属病院 検査部）

大会日程表

平成28年3月6日（日）

	第一会場 臨床講義棟 大講義室	第二会場 臨床講義棟 小講義室
8:30	受付	
9:05	大会長挨拶	
9:10	<p>一般演題</p> <p>臨床化学・免疫 I II 血液 微生物</p>	<p>一般演題</p> <p>遺伝子 生理機能 I II 輸血・チーム医療・医療安全</p>
11:00		
11:05	支部総会	
11:20		
11:30	<p>特別講演</p> <p>肥満とがん：腸内細菌と細胞老化の関与 について</p>	
12:20		
12:30	<p>ランチョンセミナー</p> <p>心腎連関を理解する：新しい腎疾患診断用 バイオマーカー“尿中L-FABP”活用のコツ 共催：積水メディカル株式会社</p>	<p>ランチョンセミナー</p> <p>新たな診療サポート隊“救命救急検査士” 共催：シーメンスヘルスケア・ ダイアグノスティクス株式会社</p>
13:20		
13:30	機器・試薬セミナー	
14:20	<p>シンポジウム</p> <p>臨床検査の <i>New Horizon</i></p>	
15:40	大会長謝辞	
15:45		

一 般 演 題

■ 臨床化学・免疫Ⅰ

第一会場：大講義室 9:10～9:42

座長 井上 貴子（名古屋市立大学病院 中央臨床検査部）

1. がん化学療法用尿酸分解酵素製剤：ラスリテックが血清尿酸値に与える影響について

○倉内 貴成¹⁾、濱田 悦子¹⁾、前川 真人^{1,2)}

¹⁾ 浜松医科大学医学部附属病院 検査部、

²⁾ 浜松医科大学医学部 臨床検査医学

2. 高感度心筋トロポニンT値の腎障害患者における有用性

○油野 岳夫¹⁾、高山 知子¹⁾、永野 倫子¹⁾、大江 弓起子¹⁾、酒井 美鈴¹⁾、

長原 三輝雄¹⁾、酒井 佳夫^{1,2)}、和田 隆志^{1,2)}

¹⁾ 金沢大学附属病院 検査部、

²⁾ 金沢大学大学院医学系研究科循環医科学専攻血液統御学

3. 腎移植前後での高感度トロポニンの推移

○北川 文彦¹⁾、久野 貴弘¹⁾、武田 淳¹⁾、中村 和広¹⁾、鈴木 雅大¹⁾、西垣 亮¹⁾、

齊藤 翠¹⁾、藤田 孝¹⁾、石川 隆志¹⁾、成瀬 寛之^{1,2)}、石井 潤一^{1,2)}

¹⁾ 藤田保健衛生大学病院 臨床検査部、

²⁾ 藤田保健衛生大学医学部 臨床検査科

4. 非ST上昇型心筋梗塞の診断 -心筋トロポニンTとトロポニンの比較-

○久野 貴弘¹⁾、北川 文彦¹⁾、武田 淳¹⁾、中村 和広¹⁾、鈴木 雅大¹⁾、西垣 亮¹⁾、

齊藤 翠¹⁾、藤田 孝¹⁾、石川 隆志¹⁾、成瀬 寛之^{1,2)}、石井 潤一^{1,2)}

¹⁾ 藤田保健衛生大学病院 臨床検査部、

²⁾ 藤田保健衛生大学医学部 臨床検査科

■ 臨床化学・免疫Ⅱ

第一会場：大講義室 9:43～10:15

座長 藤田 孝（藤田保健衛生大学病院 臨床検査部）

5. 臨床研究DBシステムを利用した可溶性IL-2Rの解析

○太郎丸 奈央¹⁾、濱田 悦子¹⁾、椎屋 奈穂¹⁾、前川 真人^{1,2)}

¹⁾ 浜松医科大学医学部附属病院 検査部、

²⁾ 浜松医科大学医学部 臨床検査医学

6. 当院におけるHBV再活性化の実態について

○石田 秀和¹⁾、末次 淳²⁾、片野 由里子¹⁾、田内 里奈¹⁾、中村 真大¹⁾、

大森 由佳里¹⁾、古田 伸行¹⁾、白上 洋平³⁾、伊藤 弘康^{1,3)}、清島 満^{1,3)}

¹⁾ 岐阜大学医学部附属病院検査部、

²⁾ 岐阜大学医学部附属病院第一内科

³⁾ 岐阜大学大学院医学系研究科病態情報解析医学

7. 当院における小児患者のHBc抗体陽性率およびHBV母子感染予防処置をした小児のHBc抗体価推移について

○井上 貴子¹⁾、五藤 孝秋¹⁾、杉浦 時雄²⁾、遠藤 剛²⁾、伊藤 孝一²⁾、脇本 幸夫¹⁾、田中 靖人^{1,3)}

¹⁾ 名古屋市立大学病院 中央臨床検査部、

²⁾ 名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学分野、

³⁾ 名古屋市立大学大学院医学研究科 病態医科学

8. サイトカインによる気道IL-17C発現制御の検討

○山中 勝正¹⁾、藤澤 朋幸³⁾、濱田 悦子¹⁾、須田 隆文³⁾、前川 真人^{1,2)}

¹⁾ 浜松医科大学医学部附属病院 検査部、

²⁾ 浜松医科大学医学部 臨床検査医学、

³⁾ 同 内科学第二講座

■ 血液

第一会場：大講義室 10:16～10:40

座長 山中 勝正（浜松医科大学医学部附属病院 検査部）

9. 凝固・線溶系検査の検体遠心条件についての検討

○長谷川 圭、下仮屋 雄二、渡邊 真希、関岡 富美子、坂口 茜、森本 誠、杉本 和史、中谷 中

三重大学医学部附属病院 中央検査部

10. 内因系凝固因子活性測定における組成の異なるAPTT試薬の影響について

○柴山 正美¹⁾、寺上 貴子¹⁾、竹本 賢一¹⁾、東 友子¹⁾、長原 三輝雄¹⁾、朝倉 英策²⁾、酒井 佳夫^{1,3)}、和田 隆志^{1,3)}

¹⁾ 金沢大学附属病院 検査部、

²⁾ 同 高密度無菌治療部

³⁾ 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科血液情報統御学

11. 新規プロテインS測定試薬によるプロテインS比活性の臨床的有用性の検討

○富山 隆介、野手 良剛、北島 勲

富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部

■ 微生物

第一会場：大講義室 10:41～10:57

座長 竹森 優喜子（金沢大学附属病院 検査部）

12. Microwaveを用いたチール・ネルゼン染色法の検討

○伊藤 優佳¹⁾、若林 真衣¹⁾、安田 和成^{1,2)}、戸松 絵梨¹⁾、中澤 恵子¹⁾、中村 明子^{1,2)}、森本 誠¹⁾、田辺 正樹^{1,2)}、中谷 中¹⁾

¹⁾ 三重大学医学部附属病院 中央検査部、

²⁾ 同 医療安全・感染管理部

13. LightCycler 96を用いたMycobacterium kansasiiの検出法

○菊池 有純、澤村 卓宏、大圓 修身

社会医療法人大雄会第二医科学研究所

14. 当院におけるJAK2V617F変異陽性増殖性腫瘍の検討

○朝比奈 彩、山崎 大央、寺尾 裕美子、大棟 久美恵、大畑 雅彦
静岡赤十字病院検査部

15. 孤発性家族性大腸線腫症6例の検討

○岩泉 守哉^{1,2)}、福江 美咲¹⁾、陶 弘³⁾、倉地 清隆⁴⁾、佐藤 直美^{1,5)}、前川 真人^{1,6)}
1) 浜松医科大学医学部附属病院 遺伝子診療部、
2) 浜松医科大学医学部 内科学第一、
3) 同 腫瘍病理学、
4) 同 外科学第二、
5) 同 臨床看護学、
6) 同 臨床検査医学

16. 家族性腫瘍における遺伝子検査のクライアント側からみた意義

○福江 美咲¹⁾、岩泉 守哉^{1,2)}、前川 真人^{1,3)}
1) 浜松医科大学医学部附属病院 遺伝子診療部、
2) 浜松医科大学医学部 内科学第一、
3) 同 臨床検査医学

17. 一般呼吸機能検査の精度管理による成果

○椎屋 奈穂¹⁾、濱田 悦子¹⁾、太郎丸 奈央¹⁾、伊藤 祐子¹⁾、前川 真人^{1,2)}
1) 浜松医科大学医学部附属病院 検査部、
2) 浜松医科大学医学部 臨床検査医学

18. 肺構造モデル解析に基づく機能的残気量（FRC）測定システムの同定

○大江 宏康¹⁾、中出 祐介¹⁾、中田 晶子¹⁾、南部 裕子¹⁾、長原 三輝雄¹⁾、
酒井 佳夫^{1,2)}、和田隆志^{1,2)}
1) 金沢大学附属病院 検査部、
2) 金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科血液情報統御学

19. ISO 15189「生理学的検査」認証取得への取り組み

○大沼 秀知¹⁾、櫻井 裕子¹⁾、下仮屋 雄二²⁾、森本 誠²⁾、杉本 和史²⁾、中谷 中²⁾
1) 三重大学医学部附属病院 中央検査部 生理機能検査室、
2) 三重大学医学部附属病院 中央検査部

座長 渡辺 恒夫（岐阜大学医学部附属病院 検査部）

20. 限局性腹部大動脈解離の診断において超音波パルスドプラ法が原因精査に有用であった1例

○齋藤 清隆¹⁾、山村 修²⁾、橋本 儀一¹⁾、大竹 由香¹⁾、津田 裕美子¹⁾、前田 文江¹⁾、三橋 真実¹⁾、岸本 葵¹⁾、浜田 敏彦¹⁾、遠藤 芳徳²⁾、高森 督³⁾、山田 就久³⁾、濱野 忠則²⁾、腰地 孝昭³⁾、木村 秀樹¹⁾

1) 福井大学医学部附属病院 検査部、

2) 同 神経内科学、

3) 同 心臓血管外科学

21. 胎児期より心エコー追跡により早期治療が実施できた右房内血管腫の一例

○内山 賢子¹⁾、山岸 奈々¹⁾、塩崎 真弓¹⁾、小澤 綾佳²⁾、市田 路子²⁾、松尾 辰朗³⁾、芳村 直樹³⁾、北島 勲¹⁾

1) 富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部、

2) 同 小児科、

3) 同 第一外科

22. 岐阜県における超音波を用いた少年野球肘検診

○伊藤 亜子¹⁾、渡邊 恒夫¹⁾、寺林 伸夫²⁾、福田 雅³⁾、篠田 貢一¹⁾、川島 健志²⁾、櫻井 健司⁴⁾、関根 綾子¹⁾、野久 謙¹⁾、古田 伸行¹⁾、伊藤 弘康¹⁾、清島 満¹⁾

1) 岐阜大学医学部附属病院 検査部、

2) 岐阜大学医学部附属病院 整形外科、

3) 松波総合病院 整形外科、

4) 山内ホスピタル リハビリテーション部

座長 原田 健右（富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部）

23. 職場体験学習を通じた中学生、高校生への輸血医療と病院検査部門の紹介

○山田 千亜希、榛葉 隆人、保坂 侑里、都築 茉里子、芝田 大樹、古牧 宏啓、藤原 晴美、石塚 恵子、渡邊 弘子、金子 誠、竹下 明裕
浜松医科大学医学部附属病院 輸血細胞治療部

24. 検査部における排尿機能検査士資格制度を活用した泌尿器科への診療支援体制

○橋本 儀一¹⁾、三橋 真美¹⁾、大竹 由香¹⁾、津田 裕美子¹⁾、前田 文江¹⁾、齋藤 清隆¹⁾、岸本 葵¹⁾、木戸口 周平¹⁾、角真 理絵¹⁾、浜田 敏彦¹⁾、横山 修²⁾、木村 秀樹¹⁾

1) 福井大学附属病院 検査部、

2) 福井大学医学部 器官制御医学講座 泌尿器科学

25. 当院で発生した検査に関わるヒヤリハット事例とその対策

- 川井 孝太、黒田 志保、清水 憲雄、久留島 幸路、杉江 昌男、村木 真里、
鈴木 悠子、山本 麻貴、飛田 規
磐田市立総合病院 臨床検査技術科

26. 大規模災害における当院検査部の取り組み

- 鶴見 奈央¹⁾、濱田 悦子¹⁾、岡本 明子¹⁾、近藤 光¹⁾、前川 真人^{1,2)}
 - 1) 浜松医科大学医学部附属病院 検査部、
 - 2) 浜松医科大学医学部 臨床検査医学